## そ の 他

1.	水防災意識社会 再構築ビジョン・・・・・・・	1
2.	災害対策用機械の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3.	タ日ヶ丘地区中海かわまちづくり・・・・・・・	4

## 水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿川市町村 (109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

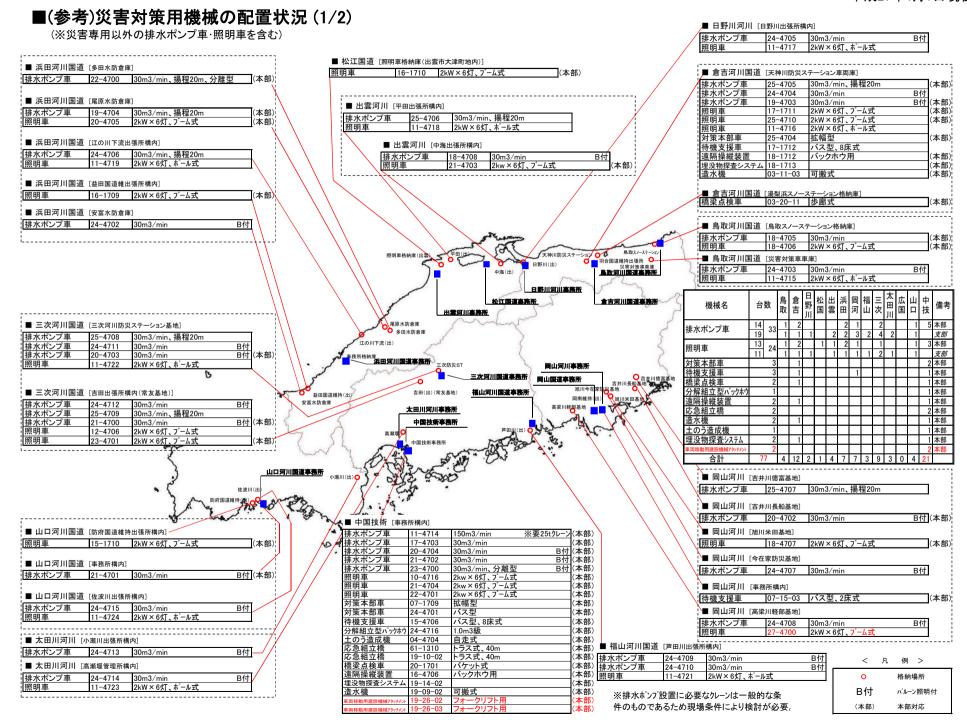
⟨ソフト対策⟩ ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」 へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

**<ハード対策>** ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する 「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

### 主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して 減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

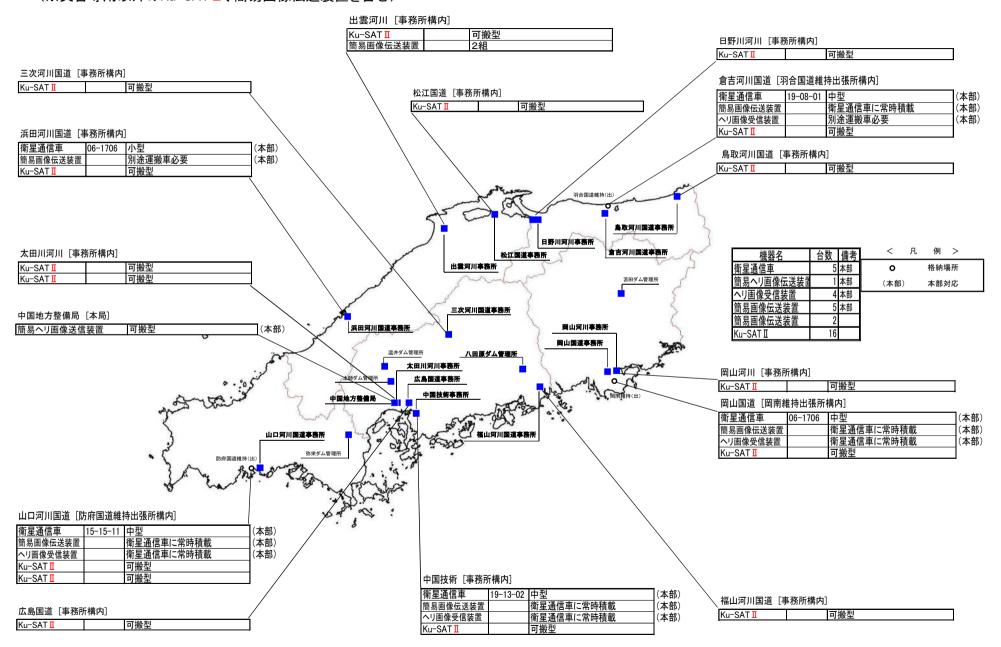




#### 平成28年4月1日現在

#### ■(参考)防災情報通信機器の配置状況(2/2)

(※災害専用以外のKu-SATⅡ、簡易画像伝送装置を含む)



「タ日ヶ丘地区中海かわまちづくり」(国土交通省、境港市)

市町村名: 鳥取県境港市

対象河川: 斐伊川水系斐伊川(中海)

#### 1. 概要

境港市では、「境港市都市計画マスタープラン」において、中海に面する海岸線は、都市景観や市街地景観の構成要素として重要な役割を有するほか、人々が自然に親しめる資源としても貴重なものであることに配慮し、自然環境の回復、親水空間の整備や水辺空間の修景など、自然に親しめる水辺環境の育成に努めることとしている。

タ日ヶ丘地区周辺は、公園やスポーツ広場などの各種スポーツ・レクリエーション施設が集積している中で、中海沿岸での散策やボートやカヌーなどの水上スポーツも楽しむことができ、積極的な利用がなされている。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路や護岸整備等を行うとともに、境港市が緑地や噴水整備等を行うことにより、背後の公園等と一体となった水辺空間を形成させることで、地域の活性化を推進する。

#### 2. 整備内容

河川管理用通路整備、護岸·階段整備(国)

案内サイン整備、緑地整備、噴水整備 (市)



# かわまちづくり支援制度

### ~良好なまち空間と水辺空間の形成~

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指します。

#### ○事業概要

ソフト支援: 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェの設置等、地域のニーズに対応した河川敷地の多様な利用を可能とするため、河川敷地占用許可準則第22による都市・地域再生等利用区域の指定等を支援。

ハード支援:治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用通路をフットパスとして活用 (最上川)

#### 【民間事業者が入った協議会が申請する場合の例】



図:かわまちづくりの流れ